

気仙沼市立階上中学校の防災学習の授業で講演しました(2018/9/20)

テーマ：防災教育，津波避難，社会調査
場所：気仙沼市立階上中学校（気仙沼市）

9月20日（木）に，気仙沼市立階上中学校にて同校の総合的な学習の時間として「防災学習」の授業が行われ，当研究所の佐藤翔輔准教授（情報管理・社会連携部門）が講演を行いました。階上中学校では，生徒数十名で構成される「防災委員会」が中心になって，生徒によって2011年東日本大震災における住民の避難行動等に関するアンケート調査が行われてます。同校では，昨年には，2016年11月22日福島県沖地震津波における住民の避難行動に関するアンケート調査も実施しており，今年度はその第2弾となります。同調査は，当研究所が以前に岩手県陸前高田市，宮城県気仙沼市の全域で実施しており，階上中学校では校区内の全住民を対象にして行われているもので，佐藤翔輔准教授はそのアドバイザーを担当しています。中学校生徒が，避難行動調査を実施するという大変珍しい取り組みです。

この授業では，階上中学校・防災委員会の生徒が階上地区の住民を対象に行った調査について，主に単純集計の結果を中心に報告がなされた後，佐藤翔輔准教授から，陸前高田市と気仙沼市全域の調査結果を例にして，「分析のコツ・考え方」に関するアドバイスをを行いました。防災委員会の報告が高いレベルで行われたことはもちろんのこと，講演中の質疑でも質の高いコメントがありました。講演の後，部活動に分かれ，調査の単純集計の結果をもとに，今年取り組む各テーマについて話し合いを行いました。この授業には，1～3年生の全生徒100名以上が参加しました。



階上中学校・防災委員会生徒による
調査結果の報告の様子



部活動に分かれての今年度テーマに関する
グループワークの様子

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）